

が未交付の世帯はない。
◆保育園の統合問題

問 榑川保育園へ統合する方針が示された理由、また地元説明会での状況をどのように捉えているか。(森川)

答 市内各保育園と同様に適正規模の保育を推進するため統合する方針だ。幼・保・小学校連携による一貫した市の理念を基に最良の立地場所として提案したが、贅川地区にとっては以前からの経過等により反論が多く出されたと理解している。

問 反対の意見書また反対の署名簿の提出に対する行政の今後の対応は。(森川)

答 思いの深いことは強く受け止めているが、贅川地区を中心に粘り強く、市の教育方針を説明したい。

問 示された統合案を再度検討する考えはないか。(森川)

答 榑川保育園への統合が、立地場所として最善と考える。

問 行政が責任をもって、地域の皆さんの理解を得ていただきたい。(森川)

答 時間がかかると思うが、努力していきたい。

子ども達に 健やかな 教育環境を

◆市長の給料の見直しは

問 議会では議員定数や政務調査費と一緒に、議員報酬の見直しを始めた。市長の給料はいつ見直すのか。(青柳)

答 私の代で見直す考えはない。

◆「有害自販機」ゼロ達成は

問 条例制定で自動的に実現するのか。強い意思と市民の協力が不可欠だ。また、「世の悪風に染まる事なかれ」という明治の教育者の遺訓も忘れてはいけない。(青柳)

答 条例制定とともに考えた。

◆部落差別の解消を

問 国の責任で解決しなくてはならない課題では。(古畑)

答 我国の重大な人権問題で国民的課題であり、差別解消に向け努力していく。

◆食農教育を

問 小中学生に農業体験を。(古畑)

答 食の大切さや農業の重要性を子供たちに認識させる大切な機会であり、今後も

農業体験学習等に取り組む。
◆鳥獣被害対策は

問 電気柵柵の設置や緩衝帯の整備実績と効果は。(古畑)

答 電気柵柵は個人9件、団体5件で総延長は約14km、緩衝帯整備事業は67.2haを整備した。サルレンジャー事業も被害防止効果が上っている。

公共施設の あり方に ついて

◆新体育館建設について

問 アンケート調査の結果や規模等の考えは。(永井)

答 新体育館の建設を望む人が35%で、もっと高い結果が出ても良いと思っていた。建設を望む人の思いを大切に、無関心層の人には、体育館の多目的利用等の必要性を理解して頂くのも課題。建設場所や規模は、体育館建設研究委員会で研究中であり、交通の利便や駐車場の確保、中途半端な施設にしない等の意見もあり、結果は提言書として提出される。先進地の和光市総合体育館は、19億8千万円で建設されており、財政負担を20億円程度に圧縮する案

も選択肢として検討する。
◆市役所本庁舎改修方法は

問 免震か制震か耐震か。慎重に検討されたい。(青柳)

答 後15年は使用できるような改修方法を検討したい。

◆市民交流センターの整備費は総額でいくらか。(青柳)

答 連絡通路や平面駐車場、家具備品など含めると58億5千万円、市の負担額は13億3千2百万円となる。

問 総額は60億円に迫り、10億円と決めた市の負担額もかなり超えている。圧縮策が必要と思うのでさういふ意識でやってほしい。(青柳)

◆市街地再開発に関する民間の動きについて

問 具体的な情勢については？(金田)

答 個別事業については限界があるが、商店街関係者と連携の上配慮していく。

問 センター建設期間中の騒音対策や集客策は。(金田)

答 工事関係者にも要請し十分注意していく。除雪等県と連携し事故防止にも努める。集客は、商店街が中心に行うよう働きかけ、従来と一風変わったイベントを考えている。◆えびの子大橋開通に伴う周辺道路の安全対策は



12月に開通したえびの子大橋 (広丘吉田)



現市立体育館の耐震改修工事



現在の榑川保育園 (木曾平沢)